



平成28年

別府市特別功労表彰

11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに大きく貢献された9名1団体の功績をたたえ表彰しました。今回、受章された方々を紹介します。(順不同)



村津 忠久 さん

長年にわたり、「べつづ鶴見岳一気登山大会」を開催し、本市の観光振興に多大な貢献をされた。日本唯一となる同大会を発案し、登山道の整備に尽力。昭和63年の開催以来、べつづ鶴見岳一気登山実行委員長を務め、現在は同永久名誉実行委員長として運営にあたられている。



入江 秀利 さん

長年にわたり、別府市文化財保護審議会委員として、本市の文化財の調査研究、保護活用に尽力された。近世地方文書の調査による「別府市古文書資料集」の編集、本市の江戸時代の古文書を集解読した「銭瓶石騷動記録」などの著作により、地域史の発展に貢献されている。



井村 節子 さん

長年にわたり、市営温泉「別府海浜砂湯」の砂掛けさんとして従事、「砂掛けマイスター」第1号として活躍された。おもてなしの心をもって利用者に接し、多くの砂湯ファン、リピーターを生み出すことに貢献。外国人観光客を迎えるため英会話を学び、国際観光温泉文化都市別府の顔として本市の観光振興に尽力されている。



大鍛治 光子 さん

長年にわたり、別府市総合教育センター補導員を務め、月2回の補導活動、年2回の愛のパトロールなどを行い、本市の青少年の健全育成に尽力。平成16年度から別府市総合教育センター補導員協議会会長を務め、同協議会の中心となり活動を推進し、次世代を担う青少年育成に貢献されている。



溝部 仁 さん

長年にわたり、私学振興に努め、海外の大学との単位互換制度、グローバル人材の育成、国際交流に寄与。また、産官学連携による新たな学習システムの基盤整備や、「温泉コンシェルジュ」育成のカリキュラムづくりなど、温泉地を牽引する専門人材の育成に尽力され、本市の地域活性化に貢献されている。



西 謙一 さん

長年、別府商工会議所、別府市観光協会の一任を歴任、平成10年に別府つるりん通り商店街振興組合理事長に就任し、地域経済発展に寄与。平成7年に県ニュージランド友好協会会長に就任、平成11年には姉妹都市ロトルア市から名誉市民の称号を付与され、本市の国際交流に貢献。また、別府市ラグビー協会会長として、ラグビーW杯キャンプ誘致に取り組まれている。



竹村 恵二 さん

地球熱学、火山学の権威であり、熊本地震の際、常時観測火山に指定されている鶴見岳・伽藍岳を観察し、別府市災害対策本部会議において地震の特徴やメカニズム、火山への影響などを解説。本市の災害対策の方針決定に寄与された。平成26年に「鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会」の委員に就任し、火山噴火時の避難対策構築に貢献されている。



河野 幸治 さん

長年にわたり、小児科医として児童生徒の健康管理、治療などに献身的に奉仕され、地域住民の厚い信頼を受けている。平成6年から別府市医師会理事として、医師会活動を通して本市の保健行政に寄与。平成18年から10年間、別府市医師会会長を務め、別府市保健センターの設立に貢献されている。



木谷 隆行 さん

2016年リオデジャネイロ・パラリンピックのポッチャ競技において、日本代表チーム「火ノ玉ジャパン」の選手として出場し、日本初の銀メダルを獲得された。2008年北京・パラリンピックでも日本代表チームとして活躍され、同競技の普及促進、障がい者スポーツの発展に貢献されている。



特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事 山出 淳也 さん

平成17年に本市を活動拠点に設立され、現代芸術の紹介、教育普及活動、市街地空き店舗リノベーション事業など、日常的に文化芸術活動を行い、多様性の地域社会を支える文化基盤の創出に寄与。平成21年から「混浴温泉世界」「ベップ・アート・マンス」を開催し、多くの人が現代芸術に触れる機会や環境を提供。本市における新たな芸術文化の創出、地域活性化に貢献されている。

平成28年

別府市功労表彰

別府市では11月3日、自治行政の振興や公共の福祉などに貢献された方を表彰する「別府市功労表彰」を行いました。

今回受賞された方々は次のとおりです。(敬称略・順不同)

自治部門

塩地奎三郎	長野也典
田原康行	友永丈一
廣田巖	山本國雄
林道弘	友永良子
麻生昭一	

公共福祉部門

河村貴雄	梶原哲雄
平野英壽	山口巧
二宮孝詞	阿部千ヨノ
日高清志	太田道子
池尻典子	平松幹雄
後藤陽子	丸子寿喜子
近藤美穂	田原京子
加藤治男	荒金収二
栗田弘	彌田誠一
桑原誠二	久保晴彦
裏田泰正	

教育・文化・スポーツ部門

山下充江 渡邊祥夫

市民活動部門

中川前	池上けい子
宮崎了三	近藤徹也
特定医療法人社団春日会	
黒木記念病院	

特別功労表彰

氏名（敬称略）	功 績 内 容	役 職 等
村津 忠久	長年にわたり、海拔0mのスパピーチから1,375mの鶴見岳山頂まで自動車道を一切通らない「べっぶ鶴見岳一気登山大会」を開催し、本市の観光振興に多大な貢献をされている。日本唯一となる同大会を発案し、登山道の整備に尽力された。昭和63年に開催以来、べっぶ鶴見岳一気登山実行委員長を務め、現在は同永久名誉実行委員長として運営にあたり、全国から多くの参加者による本市を代表するイベントに導いた功績は大きい。	(前)べっぶ鶴見岳一気登山実行委員長 べっぶ鶴見岳一気登山永久名誉実行委員長
入江 秀利	昭和47年から長年にわたり、別府市文化財保護審議会委員（旧文化財保護委員会委員、文化財調査員）として、本市の文化財の調査研究、保護活用に尽力された。近世地方文書の調査による「別府市古文書資料集（第1集～13集）」の編集、本市の江戸時代の古文書を集成解読した「銭瓶石騒動記録」、「江戸期別府温泉資料集成」などの著作により、地域史の発展に貢献された功績は大きい。	別府市文化財保護審議会副会長
井村 節子	長年にわたり、市営温泉「別府海浜砂湯」の砂掛けさんとして従事し、「砂掛けマイスター」第1号として活躍された。おもてなしの心をもって利用者に接し、多くの砂湯ファン、リピーターを生み出した功績は大きい。外国人観光客を迎えるにあたり、率先して英会話を学び、世界各国のあいさつで接する等、国際観光温泉文化都市別府の顔として本市の観光振興に尽力された。	砂掛けマイスター
大鍛治 光子	平成6年度から長年にわたり、別府市総合教育センター（青少年センター）補導員を務め、月2回の補導活動、年2回の愛のパトロール等を行い、本市の青少年の健全育成に尽力されている。平成16年度から別府市総合教育センター補導員協議会会長を務め、同協議会の中心となって積極的に活動を推進し、次世代を担う本市の青少年育成に多大な貢献をされている。	別府市総合教育センター補導員協議会会長
溝部 仁	長年にわたり、私学振興に努め、海外の大学との単位互換制度、秋入学、短期留学制度によるグローバル人材の育成、国際交流に寄与されている。また、産官学連携による新たな学習システムの基盤整備や「温泉コンシェルジュ」育成のカリキュラムづくりなど、別府型ドリームプロジェクトを形成することにより、温泉地を牽引する専門人材の育成に尽力され、本市の地域活性化に貢献されている。	学校法人 溝部学園理事長
西 謙二	長年にわたり、別府商工会議所、別府市観光協会の要職を歴任され、平成10年に別府つるりん通り商店街振興組合理事長に就任し、地域経済の発展に寄与されている。平成7年に大分県ニュージーランド友好協会会長に就任し、平成11年には本市の姉妹都市であるロトルア市から名誉市民の称号を付与されるなど、本市の国際交流に多大な貢献をされている。また、平成27年から別府市ラグビー協会会長として、ラグビーワールドカップキャンプ誘致に取り組むなど、その功績は誠に顕著である。	別府商工会議所会頭 別府市ラグビー協会会長
竹村 恵二	地球熱学、火山学の権威であり、平成28年に発生した熊本地震の際、常時観測火山に指定されている鶴見岳・伽藍岳を観察し、別府市災害対策本部会議において地震の特徴やメカニズム、火山への影響などを解説され、本市の災害対策の方針決定に寄与された。平成26年に「鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会」の学識経験者として委員に就任し、火山噴火時の本市の避難対策等の構築に貢献されている。	京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設教授
河野 幸治	長年にわたり、小児科医として児童生徒の健康管理、治療等に献身的に奉仕され、地域住民の厚い信頼を受けている。平成6年から別府市医師会理事として、医師会活動を通して本市の保健行政に寄与されている。平成18年から10年間、別府市医師会会長として強いリーダーシップを発揮され、会務の運営にあたりとともに、別府市保健センターの設立に貢献されるなど、その功績は誠に顕著である。	(前)別府市医師会会長 大分県医師会副会長
木谷 隆行	2016年リオデジャネイロ・パラリンピックのボッチャ競技において、日本代表チーム「火ノ玉ジャパン」の選手として出場し、日本初の銀メダルを獲得された功績は絶大である。長年にわたり、自己研鑽に努め、2008年北京・パラリンピックでは、初出場となるボッチャ競技日本代表チームの選手として活躍された。同競技の普及促進、障がい者スポーツの発展に多大な貢献をされている。	社会福祉法人 太陽の家
特定非営利活動法人 B E P P U P R O J E C T	平成17年に本市を活動拠点に設立され、現代芸術の紹介、教育普及活動、市街地空き店舗リノベーション事業など、日常的に文化芸術活動を行うことにより、多様性の地域社会を支える文化基盤の創出に寄与されている。平成21年から「混浴温泉世界」「ベップアートマンス」を開催し、幅広い多くの人々が現代芸術に触れる機会や環境を提供し、本市における新たな芸術文化の創出、地域活性化に多大な貢献をされている。	

功 勞 表 彰

自治部門（9名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
塩地 奎三郎	平成16年から東荘園自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。平成20年から自治委員会緑丘地区支部長として、4町から成る緑丘地区全体の地域融和に貢献され、平成26年からは自治委員会会長として、市内145町の自治委員を牽引し、市民の福祉向上に尽力されている。
長野 也典	平成16年から西野口町自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。平成21年から自治委員会青山地区副支部長として、7町から成る青山地区全体の地域融和に貢献されている。
田原 康行	平成16年から荘園自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。平成20年から自治委員会鶴見地区支部長として、4町から成る鶴見地区全体の地域融和に貢献され、平成26年からは自治委員会監事として尽力されている。
友永 丈一	平成16年から野口中町自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。平成22年から自治委員会野口地区支部長として、7町から成る野口地区全体の地域融和に貢献されている。
廣田 巖	平成16年から大畑自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。平成16年から自治委員会大平山地区副支部長として、4町から成る大平山地区全体の地域融和に貢献されている。
山本 國雄	平成16年から田の口自治委員として、住民福祉の向上、安全・安心なまちづくりに努めている。
林 道弘	平成10年から人権擁護委員として、地域住民の人権意識を高め、人権への理解を深めるため、人権啓発活動等に尽力されている。また、平成27年度から別府市人権問題啓発推進協議会副会長に就任され、本市の人権啓発活動に貢献されている。
友永 良子	平成15年から長年にわたり、別府市情報公開審査会の委員に就任され、市政の透明性の向上、市民の市政参加への促進に寄与されている。また、平成10年から人権擁護委員を務め、人権相談や人権啓発活動を通じて地域に貢献されている。
麻生 昭一	平成15年から長年にわたり、別府市情報公開審査会の委員に就任され、市政の透明性の向上、市民の市政参加への促進に寄与されている。

功 勞 表 彰

公共福祉部門（21名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
河村 貴雄	平成11年に別府商工会議所議員に就任されて以来、地域商工業発展のために献身的に努力されている。また、長きにわたり、副会頭、常議員、部会長、委員長などの要職を歴任されている。
梶原 哲雄	平成13年に別府商工会議所議員に就任されて以来、地域商工業発展のため献身的に努力されている。また、長きにわたり、監事や常議員、部会長などの要職を歴任されている。
平野 英壽	平成15年に別府商工会議所議員に就任されて以来、地域商工業発展のために献身的に努力されている。また、長きにわたり、常議員や委員長などの要職を歴任されている。
山口 巧	平成17年に別府商工会議所議員に就任されて以来、地域商工業発展のために献身的に努力されている。また、長きにわたり、常議員や部会長、委員長などの要職を歴任されている。
二宮 孝詞	平成13年に別府市管工事協同組合理事に就任され、業界発展のため、温泉文化や環境保全について理解を広め、地域活性化に貢献された。平成15年から平成21年まで副理事長に就任され、現在も理事として、長年にわたり、組織の活性化に尽力されている。
阿部 千ヨノ	20数年の長きにわたり、人通りの多い野口元町二区公民館周辺の草取り活動を続け、町内をはじめ商店会の環境美化に尽力されている。
日高 清志	平成18年に「大平山友遊エコクラブ」「やまなみこどもエコクラブ」を結成し、キャンドルナイトや水生生物調査等の活動を通して自然保護・環境啓発に努め、ゴミ拾いや花植え等、地域の環境美化に貢献されている。地球温暖化防止推進員、うちエコ診断士として、環境啓発活動に尽力されている。
太田 道子	平成11年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加され、別府保護区保護司会の経理部長として事業の推進に貢献されている。
池尻 典子	平成11年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加され、別府保護区保護司会女性会「かがやきの会」の会長として、青少年の健全育成に尽力されている。

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

<p>平松 幹雄</p>	<p>平成11年に保護司の委嘱を受けて以来、多くの保護観察対象者の更生援助に尽力されている。また、「社会を明るくする運動」等の地域における防犯啓発活動にも積極的に参加され、雇用主会会長として更生保護対象者の雇用を積極的に援助し、雇用主の確保に尽力されている。</p>
<p>後藤 陽子</p>	<p>長年にわたり、別府市遺族会連合会の西地区女性部長として、戦没者遺族の生活支援を行い、遺族の高齢化による諸問題への取り組み、英霊顕彰、遺族の福祉改善等に尽力されている。</p>
<p>丸子 寿喜子</p>	<p>長年にわたり、別府地区更生保護女性会理事として、会の発展に寄与されるとともに、「社会を明るくする運動」をはじめ、様々な行事を通じて、次世代を担う青少年の健全育成に尽力されている。</p>
<p>近藤 美穂</p>	<p>長年にわたり、民生委員・児童委員として何事にも積極的に取り組み、地域福祉の向上のために尽力されている。現在は青山地区民生委員児童委員協議会の会長として、単位民生委員児童委員協議会の運営に尽力されている。</p>
<p>田原 京子</p>	<p>NPO法人「たすけあい組織鼓楼」の代表者として、地域福祉の向上に努めている。平成28年4月に発生した地震の際、指定避難所において高齢者等の相談活動や医療機関・福祉施設への搬送手続き、不安を抱え自宅に戻れない避難者の受入れを行うなど、安心して暮らせる地域社会に寄与されている。</p>
<p>加藤 治男</p>	<p>昭和61年に消防団員を拝命、平成10年に班長に昇任、現在は第8分団の班長として、団員相互の融和に尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導、また、火災予防啓発に努め、団員はもろろん広く地域住民の信頼を集めている。</p>
<p>荒金 収二</p>	<p>昭和61年に消防団員を拝命、平成12年に班長、平成19年に部長へ昇任し、現在第13分団の部長として部下団員を掌握し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、団員の教育、訓練指導や技術の向上に貢献されている。</p>
<p>栗田 弘</p>	<p>昭和61年に消防団員を拝命、平成8年に班長、平成12年に部長へ昇任し、現在は第3分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の育成指導にあたるなど、団員はもろろん広く地域住民の信頼を集めている。</p>
<p>彌田 誠一</p>	<p>昭和61年に消防団員を拝命、平成11年に班長、平成18年に部長、平成27年に副分団長へ昇任し、現在は第6分団の副分団長として分団長を補佐し、住民との連携を保ち、地区の防災活動の担い手として、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上に貢献されている。</p>

功労表彰

公共福祉部門（つづき）

（敬称略・順不同）

桑原 誠二	昭和61年に消防団員を拝命、平成12年に班長、平成17年に部長、平成28年に副分団長へ昇任し、現在は第12分団の副分団長として分団長を補佐し、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の育成指導、火災予防啓発に努め、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。
久保 晴彦	昭和61年に消防団員を拝命、平成4年に班長、平成17年に部長、平成21年に副分団長へ昇任し、現在は第16分団の副分団長として、分団長を補佐し、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の育成指導にあたるなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。
裏田 泰正	昭和61年に消防団員を拝命、平成5年に班長、平成10年に部長、平成22年に副分団長へ昇任し、現在、第2分団の副分団長として分団長を補佐し、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の育成指導にあたるなど、団員はもちろん広く地域住民の信頼を集めている。

教育・文化・スポーツ部門（2名）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
山下 充江	昭和63年から長年にわたり、本市のグラウンド・ゴルフの普及・指導に尽力されている。別府市グラウンド・ゴルフ協会役員として会員間の友愛をもって、高齢者の健康保持、交通事故防止活動等に貢献されている。
渡邊 祥夫	長年にわたり、陸上長距離選手・監督として活躍し、本市の陸上競技の普及・発展に貢献されている。また、郡市対抗県内一周駅伝別府市チームの監督として指導力が顕著である。

市民活動部門（4名・1団体）

（敬称略・順不同）

氏 名	功 績 内 容
中川 前	長年にわたり、言語病理学の研究に尽力され、教員退職後の昭和59年から、地域において、障がいのある子どもたちに図形等を駆使した訓練などを行うことにより、障がい児のコミュニケーション力、社会生活の向上に寄与された。
池上 けい子	平成11年から長年にわたり、独居高齢者へ見守りの電話や、近隣の方の様々な相談を受けるなど、地域住民が安心して暮らせるまちづくりに尽力されている。

功労表彰

市民活動部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

宮崎 了三	長年にわたり、毎日のように町内公民館や周辺道路、市道や側溝の清掃を行い、町内の環境美化に尽力されている。その姿は、地域住民の模範となっている。
近藤 徹也	長年にわたり、毎日のように餅ヶ浜海浜公園及び周辺の雑草やゴミの除去を行い、町内の環境美化に尽力されている。その姿は地域住民の模範となっている。
特定医療法人 社団春日会 黒木記念病院	地域に密着した医療法人を基本理念に掲げ、病院職員等による「黒木劇団」「黒木芸術団」を結成し、公演等のボランティア活動を行っている。福祉施設への慰問、数多くの地域行事への参加により、広く市民から親しまれ、地域社会に貢献されている。